

主 張

○ 府縣道の改良を策せよ

緊縮政策——非募債主義を以て黨是とした現内閣が、經濟界の不況に基因して簇生した失業者群救濟の爲めに道路改良事業を起興するに至つたのは、其の黨是に反するか否かは別として、吾人の双手を擧げて賛成するところであつて、今や其の實施期に在る。傳へ聞くところによると、世間が其の完成を怪んだ政府直營の下に執行する國道の改良工事も着々進捗して、今の狀勢で進工するときは早くも十一月末までに其の大部分を完成すると報ぜられ、一方地方廳の執行する府縣道の改良も早きものは矢張り本月中に完成するものもあると言ふ。國道改良工事の爲に使役した失業者は七月末に於て六十二萬と言はれ、失業者の救濟と道路の改良とが其の目的に近づきつゝあることは喜ぶべきである。

然るに政府の救済事業が各地に於て起工されてゐるに不拘、經濟界の不況は依然深刻化し、失業者は激減されてゐない。之を最近の調査に見ると、總失業者四十萬一千人と言はれ、其の内、日傭労働者の失業するもの十五萬五千人、其の他失業労働者十七萬七千人を算してゐる。今の狀勢を以てしては何時經濟界の不況が挽回さるゝか判らないが爲に、新年度豫算の編制に方つては爲政者は之が對策に就て深甚の考慮を拂はなければならぬ。政府は今や地方議會議員の選舉に熱中して、新年度豫算編制の方針すら樹立してゐないが、近く是等の事狀を斟酌して新方針を樹立するであらう。

此場合に於て政府は從來の非募債主義を變更して失業公債を發行するか、或は本年度同様の方針を採るか、は俄に想像を許さないが、失業救済事業を起興しても尙且右述ぶるが如き失業狀態に在るのであるから、本年度より以上の事業を起さなければ社會の不安を芟除することが出来ない。假令夫れが非募債主義に反するにしても何等かの方途を講ぜなければならぬ。併しながら如何に失業救済と雖新公債政策を採ることは黨是と正面衝突をする政策であるから、或は既存の特殊公債法を採用するかも判らない。何れの場合に於ても道路事業は本年度以上に改良を計畫する必要がある。

失業救済事業は其の名のやうに失業者を救済することを以て要件とするのは勿論ではあるが、此目的を達するが爲に國家の當然爲さなければならぬ事業を執行せむとする一石二鳥的な事業である。従つて失業者の所在する地に於て起興し得べき事業でなければならぬから、人の生活する所在に

制定された道路事業が最も適應性を有するのであつて、本年度も亦此見地に於て道路事業が採擇された所以であつた。

而して我國に於ける道路は今更こと新らしく言ふ迄もなく劣悪なものであつて、近代交通の要求に伴はない従つて之を改良するのは急務であるが、事には緩急の順序がある、其の順序は道路の效用價値よりして定められた道路の順位に依らねばならぬ、夫れに依れば國道を以て第一位に改良すべきであるが、之は國家が直轄して改良の任に方つてゐるから暫く措くとし、第二位のものは矢張り府縣道である。其の延長二萬二千里に及んで、地方的交通の中堅となつてゐて、是等道路改良の必要は其の一例を舉げて見ても判る。這般八ヶ間敷言はれた觀光道路にしても亦國立公園道路にしても府縣道が其の大部分を占めてゐる。従つて此一石二鳥的の事業に依つて是等道路の改良を策することは觀光地や國立公園採擇の運動に奮命する以上の急務であると言はねばならぬ。

今や地方は新年度豫算の編制に専らなるのとき、爲政者は叙上の諸點を考慮し失業者救済の實を舉げ府縣道の改良に全力を注がむことを切言する。夫れと同時に政府豫算に於ても本年度豫算額以上の府縣道改良補助費を支出して其の事業を助勢することを必要とする。聞く所に依れば豫算原案には八百萬圓を計上したと言はれてゐる。吾人は此原案の要求に賛成して之を成立せしめなければならぬが之と同時に府縣も亦夫れに着眼して大に改良事業を起興することを切望する。